

〈学校名〉 本庄市立中央小学校
〈所在地〉 本庄市緑町1丁目16番1号
〈電話〉 0495-21-2361
〈本事例の特徴〉

本校には、外国籍の児童が多く在籍している。さらに外国籍の児童が転入してくることも多い。そのような本校の様子にも触れて、調べ学習を行った。その結果、様々な国の文化について理解することができた。本授業で行った総合的な学習における国際理解教育の授業実践について紹介する。

〈具体的な取組や成果〉

○総合的な学習の時間「日本と外国の文化の違いについて理解しよう」

- ・ ICT 機器を用いて、児童自身が気になった外国の文化について調べ、ワークシートにまとめた。また、調べた外国の文化をグループで紹介し合ったことで、さまざまな国の文化や日本の文化との違いについても知ることができた。



○児童の感想より（一部抜粋）

○知ったこと

- ・ 公衆トイレを使用するときにお金がかかる国があること。
- ・ 車が右側通行の国があること。 ・ 電車の時刻表が無い国があること。
- ・ 学校が9月に始まる国があること。 ・ 湯船につかる習慣がない国があること

○気づいたこと

- ・ 様々な国の文化について知ることができたし、日本と外国の文化が違うことに気づいた。
- ・ 友だちが調べたことを聞いて、他の国の文化を知ることができて楽しかった。

○児童自身が気になる外国の文化について調べたことによって、興味・関心をもって調べ学習を行うことができた。また、事前に日本の文化について触れたことにより、日本と外国の文化の違いについて気付くことができた。

○さまざまな国の文化を調べ、日本の文化との違いに驚いている児童が多かった。様々な国の文化の違いについて知ったことで、さらに外国の文化について興味をもっている様子が見えた。

○本校に在籍する外国籍児童の母国の文化や生活習慣についても相互に理解を深めることができた。